

平成30年度

広島大学大学院先端物質科学研究科

(博士課程前期)

学生募集要項

[学部3年次学生を対象とする特別選抜]

[フェニックス入学制度による社会人特別選抜]

平成29年9月

広島大学

## 先端物質科学研究科のアドミッション・ポリシー

### 1 求める学生像

先端物質科学研究科では、十分な基礎学力を有し、本研究科の教育と研究に強い興味と学習意欲を持つ、次のような人を求めています。

- (1) 理工を融合した新しい科学技術分野に挑戦する意欲に燃え、新領域における研究者や高度専門技術者を目指す人
- (2) 理学系、工学系を問わず、専門分野での研究者・技術者を目指す人
- (3) 出身大学・学部を問わず、広範な学問領域に触れる機会を持ちたい人
- (4) 学問的基礎や応用研究のみでなく、実践力やビジネスセンスなどを修得し起業を目指す人

### 2 入学者選抜の基本方針

先端物質科学研究科に量子物質科学専攻、分子生命機能科学専攻、半導体集積科学専攻を設置しており、修了後の幅広い進路に対応するこれらの人を受け入れるため、ディプロマ・ポリシー、及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、入学者に求める能力やその評価方法を明示し、多面的・総合的な評価による選抜を実施します。

各専攻のアドミッション・ポリシー（抜粋）

#### 量子物質科学専攻（博士課程前期）

### 1 求める学生像

量子物質科学専攻のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、本研究科の教育と研究に強い興味と学習意欲を持つ、次のような人を求めています。

- (1) 理学と工学の分野を融合した新しい科学分野に挑戦し、新領域における研究者や技術者など、専門性を要する職業に従事することを目指す人
- (2) 理学や工学をより専門的に学ぶ事により、研究者や技術者など、専門性を要する職業に従事することを目指す人
- (3) 入学前の出身学部などの経歴にとらわれず、理学・工学の専門分野やその融合分野に挑戦する意欲を持つ人
- (4) 学問的な観点からの科学の探求やその応用だけでなく、起業など新たなビジネス分野への取り組みを目指す人

入学前の専門分野等は問わないが、以下の「入学者選抜の基本方針」に記載されている学生選抜方法において合格するに十分な適性を備えていること。

## 2 入学者選抜の基本方針

学力検査による一般選抜に加え、自己推薦入学、外国人、学部 3 年次学生、社会人等を対象とした特別選抜などの多様な選抜方法により、本専攻の求める学生像に合致した学生の選抜に努めます。

### 【学部 3 年次学生を対象とする特別選抜】

学部段階での専門的知識及び語学力を修得していることを確認し、本専攻のカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るために、学力検査（筆記試験（口頭試問）、口述試験）を課し、学力検査、外国語及び提出書類審査により、総合的に評価します。

### 【フェニックス入学制度による特別選抜】

学部段階での専門的知識及び語学力を修得していることを確認し、本専攻のカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るために、学力検査（口述試験）を課し、学力検査及び提出書類審査により、総合的に評価します。

## 分子生命機能科学専攻（博士課程前期）

### 1 求める学生像

分子生命機能科学専攻のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、入学前に以下のような多様な能力を身に付けてきた人を求めています。

- (1) 基礎学力については、大学卒業レベルの一般教養と専門分野としてのバイオサイエンスとバイオテクノロジーの知識を身につけた人
- (2) 研究能力については、これまでの研究歴を問いませんが、当該分野に対する高い関心を有し、研究を最後まで遂行する意欲と強い意志を有している人
- (3) コミュニケーション能力については、論理的に思考する力と、それを言葉で表現する能力を有している人
- (4) 英語力については、大学教養レベルの能力を有している人

## 2 入学者選抜の基本方針

学力検査による一般選抜に加え、自己推薦入学、外国人、学部 3 年次学生、社会人等を対象とした特別選抜などの多様な選抜方法により、本専攻の求める学生像に合致した学生の選抜に努めます。

### 【学部 3 年次学生を対象とする特別選抜】

学部段階での専門的知識及び語学力を修得していることを確認し、本専攻のカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るために、学力検査（筆記試験（口頭試問）、口述試験）を課し、学力検査、外国語及び提出書類審査により、総合的に評価します。

#### 【フェニックス入学制度による特別選抜】

学部段階での専門的知識及び語学力を修得していることを確認し、本専攻のカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るために、学力検査（口述試験）を課し、学力検査及び提出書類審査により、総合的に評価します。

### 半導体集積科学専攻（博士課程前期）

#### 1 求める学生像

半導体集積科学専攻のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、入学前に以下のような多様な能力を身に付けてきた人を求めています。

- (1) 理工を融合した新しい科学技術分野に挑戦する意欲に燃え、新領域における研究者や専門技術者を目指す人
- (2) 理学系，工学系を問わず，専門分野での研究者・技術者を目指す人
- (3) 出身大学・学部を問わず，広範な学問領域に触れる機会を持ちたい人
- (4) 学問的基礎や応用研究のみでなく，実践力やビジネスセンスなどを修得し起業を目指す人

入学前の専門分野等は問わないが，以下の「入学選抜の基本方針」に記載されている学生選抜方法において合格するに十分な適性を備えていること。

#### 2 入学者選抜の基本方針

学力検査による一般選抜に加え，自己推薦入学，外国人，学部 3 年次学生，社会人等を対象とした特別選抜などの多様な選抜方法により，本専攻の求める学生像に合致した学生の選抜に努めます。

#### 【学部 3 年次学生を対象とする特別選抜】

学部段階での専門的知識及び語学力を修得していることを確認し，本専攻のカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るために，学力検査（筆記試験（口頭試問），口述試験）を課し，学力検査，外国語及び提出書類審査により，総合的に評価します。

#### 【フェニックス入学制度による特別選抜】

学部段階での専門的知識及び語学力を修得していることを確認し，本専攻のカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るために，学力検査（口述試験）を課し，学力検査及び提出書類審査により，総合的に評価します。

## 先端物質科学研究科の教育・研究目標

本研究科では、理学及び工学が融合しあった分野を新しい教育・研究分野として捉え、組織的な教育に加え、学際的かつ総合的な教育・研究を行い、広い学識及び実務能力を持って国際社会の中で活躍できる専門技術者及び研究者を養成します。

### 各専攻の教育・研究目標

量子物質科学専攻	物質を量子現象の発現の場として捉え、量子物理学の基礎に関する教育研究と、物質の量子的振る舞いの応用に関する教育研究を行い、物質科学分野の先進的な研究者・専門技術者の養成を目指します。
分子生命機能科学専攻	微生物を中心に動植物を含めた生命機能を分子レベルで解明し、その成果を活用する先端的教育研究を行って、バイオサイエンス・バイオテクノロジーの高度な知識と技術を身につけた研究者・技術者の養成を目指します。
半導体集積科学専攻	情報社会の基盤技術であるナノデバイス、ナノテクノロジー、デバイスモデリング及び回路・アーキテクチャ設計に関する世界最先端の研究を行い、実践的な教育を通して、視野の広い研究者・専門技術者を養成します。

フェニックス入学制度による  
社会人特別選抜

平成 30 年 4 月本学大学院先端物質科学研究科（博士課程前期）にフェニックス入学制度による社会人特別選抜で入学させる学生を次のとおり募集します。

## 1. 募集人員及び試験場等

専攻名	募集人員	願書受付場所	試験場
量子物質科学専攻	若干名	〒739-8530	広島大学大学院 先端物質科学研究科
分子生命機能科学専攻	若干名	東広島市鏡山一丁目 3 番 1 号 広島大学先端物質科学研究科	
半導体集積科学専攻	若干名	支援室（学生支援担当）	

## 2. 出願資格

出願資格を有する者は、研究プロジェクト〔注 1〕に適合した専門的知識を有する 50 歳以上の者で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条第 4 項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者〔注 2〕

〔注1〕 研究プロジェクトとは、1) 新物質開発関連、2) バイオテクノロジー関連、3) L S I 関連のいずれかを意味するもので、その内容は次のとおりです。

1) 新物質開発関連 (量子物質科学専攻)

新しい物性 (あるいは機能) を示す物質の探索及びその物性研究を行います。

f 電子系 (希土類, アクチニド) 化合物, d 電子系 (高温超伝導体類縁物質など) や p 電子系 (高温超伝導体類縁物質など) で興味深い性質を示す物質を開発します。

2) バイオテクノロジー関連 (分子生命機能科学専攻)

細菌, 酵母, 放線菌, カイコ, メダカや植物などから遺伝子をクローニングし, その機能を調べます。産業上有用と思われる遺伝子については, 遺伝子組み換え技術により細菌や酵母などの微生物で大量発現させ, その遺伝子産物の有効利用を図ります。

3) L S I 関連 (半導体集積科学専攻)

高機能 L S I は今後の I T (Information Technology) の発展のための基礎技術であり, 関連企業の実用的研究, 新しいアイデアに基づく高機能 L S I の提案や高機能 L S I 実現のための基礎的及び学問的な研究が大学院に求められています。本研究プロジェクトは, 長年 L S I の研究に携わってこられた社会人の高度な技術的知見や専門的知識を活かして, 高機能 L S I の研究を推進するものです。

〔注2〕 出願資格(9)に該当する志願者は, 出願手続を行う前に出願資格の認定が必要ですので, 「7. 出願資格の認定について」を参照してください。

### 3. 出願手続

(1) 入学願書受理期間

平成 29 年 11 月 20 日 (月) から 11 月 27 日 (月) まで

持参の場合, 受付時間は 8:30~12:00, 13:00~17:15 です。  
ただし, 土曜日・日曜日及び祝日は受け付けていません。  
郵送の場合, 書留郵便で 11 月 27 日 (月) 17 時 15 分までに必着すること。

(2) 提出書類等

No.	提出書類等	摘 要
1	入学志願票・受験票・ 入学検定料振込証明書貼付票	交付の用紙を使用。
2	最終学校の卒業証明書	*中国(台湾・香港・マカオを除く)の大学を卒業した方は, 次の(3)を参照してください。
3	入学を志望する動機及び 今までの活動内容	用紙は A 4 判とし, 2000 字以内とします。
4	研 究 計 画 書	研究プロジェクトとの関連を含めて大学院において研究したい分野と内容について記入してください。用紙は A 4 判とし, 400 字程度とします。



5	検 定 料 入学検定料振込証明書	30,000 円。 広島大学入学検定料振込依頼書（入金票）[本学専用用紙]により、入学検定料振込証明書、入学検定料領収書、入学検定料振込依頼書（入金票）の <b>太ワクの中に、志願者氏名及び志願者住所を必ず記入</b> して、都市銀行、地方銀行等の本支店の窓口で振り込んでください。（ゆうちょ銀行及び郵便局（以下「ゆうちょ銀行」）から振り込む場合は、ゆうちょ銀行所定の振込依頼書に転記する等、別途手続きが必要となります。詳細は振込依頼書（入金票）をゆうちょ銀行窓口にて提示の上、ご相談ください。また、ゆうちょ銀行を含む各銀行 ATM からは振り込めませんのでご注意ください。）なお、振込手数料は振込人負担となります。また、「受付金融機関出納印」欄に、平成 29 年 11 月 27 日（願書受理期間の最終日）までの出納印のあるものに限り有効となりますので、銀行等の窓口の受付時間を確認のうえ振り込みを行ってください。 入学検定料振込証明書は、「入学検定料振込証明書貼付票」に貼付してください。
6	返 信 用 封 筒 （ 受 験 票 送 付 用 ）	長形 3 号定形封筒（12cm×23.5cm）に本人の住所・氏名・郵便番号を記入し、82 円切手を貼付してください。
7	在 留 カ ー ド の 写 し	日本在住の外国籍の志願者のみ提出してください。 裏面に住所が記載されている場合は、両面をコピーしてください。
8	学 士 の 学 位 授 与 証 明 書	出願資格(2)の「学位取得者」で志願する者のみ。 (独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行したもの。)

(注) 出願受付後はいかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還しません。

ただし、次の①・②の場合は、既納の入学検定料から振込手数料を差し引いて返還しますので、「返還請求の理由」, 「氏名」, 「郵便番号」, 「住所」, 「連絡先電話番号」を明記した書面（様式は任意）に必ず「入学検定料振込証明書」添付の上、平成 30 年 2 月 28 日（水）までに下記送付先宛に郵送又は FAX してください。その後、本学から検定料返還のための「返還請求書」を郵送しますので、記入・捺印の上、下記送付先に郵送してください。

① 出願書類を提出しなかった、又は受付されなかった場合

② 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

送付先：〒739-8511 東広島市鏡山一丁目 3 番 2 号

広島大学 東広島地区運営支援部 共通事務室 出納担当

(電話) 082-424-7811 (FAX) 082-424-6962

(3) 中国(台湾、香港、マカオを除く)の大学を卒業、又は卒業見込みの方は“毕业证书”及び“学士学位证书”に加え、中国教育部認証システム(中国高等教育学历证书查询

<http://www.chsi.com.cn/xlex/bgys.jsp>)により以下の書類を取得し、併せてご提出ください。

既卒者の場合……学歴証書電子登録票（教育部学历证书电子注册备案表）

卒業見込み者の場合……オンライン在籍認証レポート(教育部学籍在线验证报告)

なお、発行手数料は1件につき2元かかりますが、志願者が負担すること。また、提出時点

でWeb認証の有効期限が15日以上残っていることを確認してください。

#### (4) 出願方法

志願者は、前記(2)の書類等を取りそろえ、入学願書受理期間内に提出してください。  
なお、出願書類等に不備のある場合は、受理しません。

#### (5) 受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害のある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、次の事項を記載した申請書(様式は定めない。)を先端物質科学研究科支援室(学生支援担当)に提出し、相談してください。  
なお、事前相談の結果、精密検査が必要と認めた者には、本学において精密検査を実施します。

##### ア 相談の期限

点字による受験等の特別な準備を必要とする者については平成29年9月22日(金)までに相談してください。

その他は原則として平成29年10月20日(金)までとします。

なお、相談の内容によっては、対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

##### イ 申請書の記載内容

	内 容	備 考
①	志願者の氏名、住所、連絡先電話番号	
②	出身大学名	
③	志望専攻名	
④	障害の種類・程度	医師の診断書又は障害者手帳(写)を添付してください。
⑤	受験上の配慮を希望する事項	
⑥	修学上の配慮を希望する事項	
⑦	出身大学でとられていた特別措置	
⑧	日常生活の状況	

## 4. 入学者選抜方法

学力検査(口述試験)及び研究計画書を総合して選考します。

### 学力検査日程及び試験科目

専 攻 名	試 験 日 時	試 験 内 容
量子物質科学専攻	平成29年12月13日(水) 13:00～	口述試験 (専門的知識を問うものとする。) ※ 口述試験の詳細は、試験当日に指示します。
分子生命機能科学専攻	平成29年12月13日(水) 10:00～	
半導体集積科学専攻	平成29年12月13日(水) 13:00～	

**(注) 出願する者は、希望する指導教員にあらかじめ必ず連絡をしてください。**

## 5. 合格者発表

12月19日（火）13時（予定）

合格者の受験番号一覧表を先端物質科学研究科玄関に掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を郵送します。

また、先端物質科学研究科ホームページ（<https://www.hiroshima-u.ac.jp/adsm/>）にも掲載します。（電話等による照会には応じません。）

## 6. 納付金

入学料 282,000円

授業料（年額） 535,800円（前期分267,900円）

- (注) ・既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ・上記記載の金額は平成29年4月現在のものです。入学時及び在学中に納付金の改定が行われた場合には、改定後の納付金を納入することになります。
  - ・平成30年3月中旬の指定する期間に入学手続きを行うことになります。入学料及び授業料の納付時期、納付方法並びに免除制度等の詳細については、入学手続き通知の際、別途お知らせします。

## 7. 出願資格の認定について

- (1) 出願資格(9)により出願しようとする者は、あらかじめ本研究科において出願資格の審査を行いますので、該当する志願者は、次の書類を平成29年10月16日（月）から10月20日（金）までに先端物質科学研究科支援室（学生支援担当）へ提出してください。（郵送の際は、書留郵便とし、封筒表面に「入学試験出願資格事前審査申請書類在中」と朱書してください。）

No.	提出書類等	摘 要
1	入学試験出願資格事前審査申請書	交付の用紙を使用。
2	入学試験出願資格事前審査調書	交付の用紙を使用。
3	入学を志望する動機及び今までの活動内容	用紙はA4判とし、2000字以内とします。
4	研究計画書	研究プロジェクトとの関連を含めて大学院において研究したい分野と内容について記入してください。用紙はA4判とし、400字程度とします。）
5	最終学校の卒業証明書	
6	返信用封筒	長形3号定形封筒（12cm×23.5cm）に本人の住所・氏名・郵便番号を記入し、362円切手を貼付してください。

- (2) 認定審査の結果は、平成29年11月17日（金）までに本人あて通知します。

- (3) 認定を受けた者は、「3. 出願手続の(2)提出書類等」のうち2, 3, 4の提出を必要としません。

## 8. 長期履修学生制度について

本研究科では、フェニックス入学制度により入学した者を対象として、標準の修業年限を超えて一定の期間にわたり、計画的に教育課程を履修して課程を修了することができる制度があります。

この制度による授業料は、標準の修業年限分の授業料総額を計画的に履修することを認められた一定の期間の年数で分割して納めることとなります。

なお、長期履修期間の年限等この制度の詳細については、先端物質科学研究科支援室（学生支援担当）へお問い合わせください。

## 9. 課程修了の認定及び学位

標準修業年限を2年（但し、長期履修の願い出をし、その許可を得た者は最長4年）とし、課程修了に必要な所定の単位を修得し、かつ修士論文の審査及び最終試験に合格した者には、修士（理学、工学又は学術）の学位を授与します。

## 10. 注意事項

- (1) 募集要項を郵便で請求する場合は、返信用封筒（角形2号に郵便番号、住所及び氏名を明記し、郵便切手250円を貼付したもの。）を同封して、「博士課程前期フェニックス入学制度による社会人特別選抜〇〇専攻学生募集要項請求」と朱書し、先端物質科学研究科支援室（学生支援担当）へ請求してください。
- (2) 願書送付の際は書留郵便とし、封筒表面に「先端物質科学研究科博士課程前期フェニックス入学制度による社会人特別選抜願書在中」と朱書してください。
- (3) 願書受理後は、提出書類は返却しません。
- (4) 出願書類等に記載された個人情報（氏名、生年月日、性別、その他の個人情報等）は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。合格者の入学後は、学生支援関係（奨学金申請、授業料免除申請等）業務を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。
- (5) 気象状況の悪化、流行性の伝染病等により入学試験実施が危ぶまれる場合は、広島大学大学院先端物質科学研究科ホームページ（<https://www.hiroshima-u.ac.jp/adsm/>）にて延期及び開始時間繰り下げ等の対応をお知らせしますので必ずご覧ください。

(6) 応募に際して不明な点があれば、下記へお問い合わせください。

広島大学先端物質科学研究科支援室（学生支援担当）

所在地 〒739-8530 東広島市鏡山一丁目3番1号

TEL (082) 424-7008, 7009 (ダイヤルイン)

E-mail [sentan-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:sentan-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp)

URL <https://www.hiroshima-u.ac.jp/adsm/>

※ 電話番号については、市外局番が同じ地域がありますが、以下の地域については、市外局番からダイヤルしていただく必要がありますのでご注意ください。  
(広島市，安芸郡府中町，海田町，熊野町及び坂町の各地域)